

近代空手史—世界に広がる空手の歴史—

1 講座の内容

東京オリンピックで開催地提案の追加種目として実施された空手は沖縄を発祥とする。現在では世界に1億3千万人の愛好家がいるとされているが、沖縄で育まれた文化の中で、これほどまでに世界中へと広まっているものは他にない。空手はどのような歴史的経緯をへてここまでの広がりを見せるようになったのだろうか。本講座では特に近代に注目して、空手が県内、県外、海外へとどのようにして広がっていったのかを確認していく。

2 講座の概要

- (1) 講師 仲村 颯 氏 (文化観光スポーツ部空手振興課)
- (2) 日時 令和3年9月15日(水) 14:00~16:00
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
- (4) 受講者数 なし (オンデマンド収録のみ)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム・開会のあいさつ
・講師紹介
・講話
・閉会のあいさつ



3 成果

- ・今年の東京オリンピックで県出身の喜友名諒選手が金メダルを獲得したこともあり、タイムリーな企画を提供できた。
- ・今や世界中で愛好家の多い空手であるが、意外にも歴史的な研究はそれほど進んでいないので、今後「空手」についてさらに研究が深まることが期待される。

4 課題

- ・「空手史」に絞られた講義であったが、「空手」をまったく知らない人向けに、伝統空手や競技空手についての説明が多少あった方が、より興味を喚起できたのではないかと。
- ・途中、講師のマイクの音声の不具合が発生し、機器の調整が必要となった。